

わたSHIGAいちばん! 輝く スポーツで滋賀



第 460 号

企画・編集 委員会
出版 委員会
新 聞

発行

大津市瀬田南大萱町1732
滋賀県立東大津高等学校
生徒会出版委員会
TEL 077-545-8025

印刷

大津紙業写真印刷株式会社
大津市月輪一丁目9-33
TEL 077-544-0190(代)



彦根総合スポーツ公園



▲キャプティフ&チャップティフ

2025 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
マスコットキャラクター

国スポの大舞台

2025年9月27日、滋賀県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催される。私たちは、スポーツや国スポ・障スポの魅力进行调查すべく、各方面へ取材を行った。

2025年9月。ついに、滋賀県で第79回国民スポーツ大会が開催される。滋賀県が本大会開催地となるのは、1981年の第36回大会以来二度目で、名称が「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に変更されてからは初めての開催となる。本校からも強化指定選手が輩出されている。

滋賀県で開催された前回大会は、開催年が国際連合にて国際障害者年に指定されたこともあり、東南アジアや南太平洋の諸国、姉妹提携都市であるアメリカ・ミシガン州など、18の国と地域から多くの選手を迎え入れ、障スポが開催された。

ガン校会場

ダイハツアリーナは、2022年12月1日にオープンしたスポーツ交流拠点だ。現在は、プロバスケットチームである滋賀レイクスが本拠地として利用しており、シーズン中は試合も行われる。

メインアリーナは約2900㎡の広さで、観客席は約5000席が設置されている。また、このメインアリーナは、イベントやプロスポーツなどの興行にも利用できる。そのため、ダイハツアリーナから約350mに位置する東大津高校も昨年よりダイハツアリーナで勢翔祭体育祭部門を開催させていた。ダイハツアリーナは、来年に



▲国スポの会場となるダイハツアリーナ

開催する国スポ・障スポの主要競技会場にも選ばれている。国スポ種目の体操、バスケットボール、バドミントンおよび障スポのバスケットボール、車いすバスケットボールがこのダイハツアリーナで行われる。



▲体操の練習会場である東大津高校の体育館



▲校長を囲んで認定証を持つ指定強化選手たち

今年行われる国スポの強化選手(ターゲットエイジ)に東大津高校からは、弓道部から植田遥介さん(2-1)、藤川紅羽さん(2-2)、三橋陸人さん(2-2)、園田涼太郎さん(2-4)、里村双葉さん(2-5)、テニス部から尾崎優衣さん(2-9)、ボートクラブから元安梓さん(1-9)の計7人が選出された。

元安選手に来年の国スポへの意気込みを聞いたところ、「国スポに出られるか分からないけど、選ばれるように努力したいと思っています」とコメントしてくれた。

選ばれるための努力を

他6名の生徒のコメントについては10面にて紹介する。国スポ強化選手に選ばれたとはいえ、地区予選・県予選・最終予選に出場し、結果を出さなければと強化選手でも次には進めない。最終予選に残った選手は強化合宿に参加し、代表決定のリーグ戦を経て、代表メンバーが選出される。



▲ボートを漕ぐ元安選手

目次

- 1~5面 国スポ・障スポ
- 6・7面 お菓子の極意
- 8面 プロの新聞づくり
- 9面 知事に訊く滋賀の未来
- 10面 ターゲットエイジ

ことびっこ勝負っこ

もつと!! 国スポの大舞台



みんな集まれ競技場

2025年に開催される国民スポーツ大会および全国障害者スポーツ大会の主会場（開・閉会式と陸上競技の会場）として、彦根総合スポーツ公園・第一種陸上競技場（平和堂HATOスタジアム）が設立された。

彦根総合スポーツ公園は世代を超えて滋賀のみんなが一つにつながる場として、そして県民の生きがいづくりの拠点として造られた。平和堂HATOスタジアム、平和堂げんきっこフィールド、HPLベースボールパークなどといったスポーツにふれあう施設がたくさんある。令和7年にはスタジアム周辺の緑地も整備されるそう。スポーツをする人、観る人だけでなく普段あまりスポーツに興味のない人



▲彦根総合スポーツ公園・第一種陸上競技場（平和堂HATOスタジアム）

彦根総合スポーツ公園

める開放的な設計で、周囲の山々や琵琶湖の自然にだけこみ彦根の歴史的な景観に調和するように配慮されている。

陸上競技場では彦根城の世界遺産登録に向けた取り組みなども行われており、滋賀の歴史文化を継承し、親しみを育てる交流の架け橋となる競技場となっている。

国スポ・障スポに向かつて準備は次々と進んできているようだ。

も気軽に来て、楽しめる公園を目指している。

陸上競技場には多くのこだわりがある。そのこだわりの1つとして挙げられるのが周囲の自然と歴史にだけこむデザイン



▲電車

プールが草津に誕生!!!!!!

一年中利用できる 屋内温水プールが誕生

私たちは7月30日に滋賀県草津市に新しく誕生したインフロンニア草津アクアテイクスセンターを訪ねた。インフロンニア草津アクアテイクスセンターは2025年開催予定の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の水泳競技会場として使用される予定だ。

競泳と飛込 同時開催のモデルケースになりたい

この施設のメインプールは床が昇降式で、水深0m〜3mまで調節可能となっている。この機能を生かした水泳以外の利用を草津市と協力しながら模索中だという。通常、冬季はスケート場などとして使用されるが、ここは室内プールという点と、水深調節可能ということから、水泳調節可能な環境での利用が可能だ。またコースロープは東京オリピックで使用されたものであるという他の施設にはない特徴ももっている。



▲説明して下さる宮口さん

西日本初の通年利用可能な最新鋭規模の陸上練習施設が地下にある。選手は地下で感覚を身に付けてからプールに移動する。その他にも、トレーニングルームやスタジオ、



「終わりが見えなかった、長かった」と語った。インフロンニア草津アクアテイクスセンターは2024年8月1日オープン。2025年9月6日にアーティスティックスイミング、9月8日から水球、9月13日から競泳、飛込が競い合う会場となる。

50mプールに 元・水泳部、挑む!!

取材後、元水泳部の部員である堀池さんが実際に25mと50mのプールを利用してみた。国スポで利用される50mプールでは実際に強化選手が練習していたり、国スポに向けて準備が始まっている様子が見られたりした。またこの施設では幅広い年代が利用しており、いろいろな年齢層が自分に合ったコースを選んで泳ぐことができる。堀池さんは「終わりが見えなかった、長かった」と語った。インフロンニア草津アクアテイクスセンターは2024年8月1日オープン。2025年9月6日にアーティスティックスイミング、9月8日から水球、9月13日から競泳、飛込が競い合う会場となる。

▼館長の小橋さんとお掃除ロボットとらたくん



「障がい者」とひとくくりにしな みんなが利用できる施設

滋賀県立障害者福祉センターは障がいを持つ人たちの福祉の増進を図るため、滋賀県が日本で唯一の福祉センターとして設置し、平成2年8月にオープンした。障がいのある人の施設として、障がい等に配慮した設備、器具を設置し、障がいのある人は無料、障がいのない人は有料で利用できる。私たちは福祉センターの松田孝治さんと増田圭亮さんにお話を伺った。

障がいを持つ人のニーズに合わせた施設



▲滋賀県立障害者福祉センター



▲多くのクラブチームがこの施設のアリーナで練習している

この施設は来年度の国スポに向けて何か特別に変わることはないとおっしゃった。障がいを持つ人の体を動かしてみたい、リハビリ

をした、体を動かすことを習慣づけたいなどという思いを大切に、障がいを持つすべての方々に運動・交流する一つの社会資源として活用してもらおうことがこの施設の目標である。多くのパラスポーツクラブがこの施設を利用しており、アリーナで練習を行っている。中でもパリ2024パラリンピックに出場する、競泳の福井香澄選手など世界で活躍する多くの選手もこの施設を利用して、そういった選手や利用者が快適に利用するためにプール専用の車いすでプールに入れるようにする、更衣室・プールサイドに床暖房が設置されるなど多くの工夫がされている。他にも障がいを持つ人のニーズに合わせてさまざまな事業が行われている。

まず最初に松田さんは、この施設は来年度の国スポに向けて何か特別に変わることはないとおっしゃった。障がいを持つ人の体を動かしてみたい、リハビリ

増田さんが障がいを持つ人と関わるうえでこの施設を話してください。普段生活している中で、実際に障がいがあると周りの誰かに障がいがあると気づかないこともあるのではないだろうか。増田さんは、「私たちは障がいを持つ人について知らない、自然と自分とは違う『障がい者』というくくりで見えてしま

「人ひとり」として見てほしい



▲施設について教えてください松田さん

障スポとパラ 順位の付け方が違う?

全国障害者スポーツ大会とパラリンピックでは順位付け方が少し異なるのはご存じだろうか。そのことについて増田さんが教えてくださいました。全国障害者スポーツ大会では障害区分や年齢区分を設け、同じ区分の選手同士で競技を行い、レースごとで順位が決まる。対してパラリンピックでは障がいの種類や程度によって区分され、そのクラスごとに順位が決まる。似ているように少し違うのだ。障スポのように区分ごとに入賞者がたくさんいるというのは社会参加の意義だと増田さんはおっしゃった。しかし、増田さんはパラスポーツの順位の付け方について難しい部分があると教えてくださいました。それは障がいの区分が一つ上がったたり下がったりすることで順位が落ちることもあれば上がることもあるというのだ。例えば義足などの身につける道

具の機能が上がるだけで選手としての扱いが変わり、区分が上がることがある。区分が上がることにより本来の身体能力が順位に反映されにくくなるのだ。いい道具などがあってもそれに対応できる体、能力がないと勝てない。それが難しい部分だと増田さんはおっしゃった。

パラスポーツを通じた社会参加と課題

無料利用できる健康ステーションも設置されている。2025年開催の滋賀国スポでは、競泳と飛込を同時に行うつもりだという。館長の小橋さんは「普通一般的には会場や日程をずらす。音響や照明のタイミ



▲プール用車いすについて説明してください松田さん(左)と増田さん(右)

現在では社会性より競技性が重要視されるあまり、障がいを持つ人がパラスポーツを通して、社会に障がいについての理解を伝えてい

くという本当の社会参加の意味が欠けてきているのかもしれない。パラスポーツにはクラス分けなど現在、多くの課題がある。これからもパラスポーツの在り方について、まだまだ考えていく必要があるのではないだろうか。

滋賀国スポでは、競泳と飛込を同時に行うつもりだという。館長の小橋さんは「普通一般的には会場や日程をずらす。音響や照明のタイミ

▲滋賀県にゆかりのあるパラパラリンピックの選手



かけっ



▲スタジアム入り口



▲彦根駅での国スポ・障スポカウンタダウンパネル



国スポ・障スポのラッピング

だ。競技場のフィールドからも観客席からも南に彦根城、北に伊吹山が望



でけえ



▲通年利用可能な飛込プール

10mの高さから下をのぞく部員▶

無料で利用できる健康ステーションも設置されている。2025年開催の滋賀国スポでは、競泳と飛込を同時に行うつもりだという。館長の小橋さんは「普通一般的には会場や日程をずらす。音響や照明のタイミ



▲担架にもなるベンチを体験

大会を支える 緑の下の力持ち



国スポは約22000人、障スポだけでも約5500人の選手や監督、役員の方々が参加される予定であり、開催時期が万博、旅行シーズンと重なるため、バスや宿

泊施設の確保が大きな課題となる。実行委員会では、移動や宿泊といったサービスを確実に提供できるように準備を進めているとのことだ。

また大会の運営をサポートする補助員に関しては、滋賀県の教育委員会や各高校と連絡を取り合い、高校生にも教育活

動の一環として協力してもらうことを依頼中とのこと。東大津高校には選手の練習に使用するための体育館の利用も依頼している。補助員として参加

する際は「児童生徒が国スポ・障スポの行事等に参加して行う活動は、学校の教育活動の一環として取り扱うこととし、校

環境を守るのは私たち自身

オーバーツーリズムについての話も伺った。オーバーツーリズムとは、過度な観光地化により地域住民の生活環境や観光客の観光体験に悪影響を与える状態のことである。オーバーツーリズムも含めた環境に関する取組として、実行員会では「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ MLGs 宣言」を行い、行政や関係者のみならず、県民や企業も一緒になり、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」を契機に、環境に配慮した取組が広がり、一人ひとりの意識・行動変容につながる姿』というものを目指している。この目標を実現するためには、私たちがひとりひとりが思いやりを大切にしなければならない。

長が認める場合には出席扱いとすることができると、県教育長から各県立学校長に通知が出されている。滋賀県国スポ・障スポ大会局の窪田陽介さんは「44年ぶりの大会ですので、ぜひ多くの高校生の皆様にも、様々な形で御参加いただきたい」と語った。また会場につ

いて、実行委員会では競技会場の整備を最優先に取り組んでいる。滋賀県内の高校のトイレは普通校舎から改修されており、東大津高校でも来年度に予定されている。体育館を利用される選手の手洗いについて、実行委員会は、県外から来る方々が快適に施設を利用するための準備は大切なことであり、関係機関と対応を検討していきたいと考えている。

「来てよかった 大会づくり」

私たちは、東大津高校に打ち合わせにいられたいた滋賀県国スポ・障スポ大会局の山本泰章さんと横田信哉さんに取材を行った。お二人は、国スポ・障スポのボランティアや市民との協力について語ってくださった。滋賀県国スポ・障スポ

大会局は高校生のボランティア（競技補助員、運営ボランティア）を募集している。そこで、高校生ボランティアにしかできないことは何だと考えるかを伺った。高校生は唯一無二の元気や盛り上がりを持っており、高校生が大会出場選手と触れ合うことで、選手は力をもらえるという。さらに、高校生自身も選手が競技に立ち向かう前向きな姿から学びを得ることができると、高校生と選手がかわりを持つことで、win-winな関係を



▲早く直してほしい、我が校のトイレ



▲山本さん(左)と横田さん(右)

動することが多いらしい。しかし、なかには高校の部活動には無いような競技もある。そのため、そういった競技は、部活動を指定せず広く募集をかけて集めるそう。山本さんと横田さんは日々、「来てよかった」と思える大会づくりに尽力されている。競技補助員だけでなく、運営ボランティア（環境美化、案内・受付等）についても募集されているそうなので、これを機にボランティアに応募してみたいかがだろうか。

築き上げることができのだ。また、今回のボランティア活動や協力を通して、人々が競技のことをよく知り、スポーツに興味を持つという狙いもある。ボランティア活動はスポーツの発展にもつながるのである。また、競技ごとのボランティアの募集方法についても伺った。高校生の競技補助員（審判補助、記録補助等）は、基本的には自分が所属している部活にかかわる競技で活



参考
【わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会ホームページ/ボランティア募集】

実際にやってみたら





サウンドテーブルテニスとは、視覚障害者が行う球技で、球の中に金属の球が4つ入っており、その音を頼りにプレーする。基本的なルールは卓球と似ているが、普通の卓球とは異なり、ラケットにラバーが張られていないラケットを使用する。

ゴールボールとは、視覚障害者を対象に考えられた球技で、パラリンピック特有の種目だ。ゴールボールに使用されるボールの中には鈴が入っており、目隠しをした選手らは鈴の音を頼りにボールを探し、ゴールにシュートする。



サウンドテーブルテニスと普通の卓球の大きな違いはラケットとネットだ。この競技は卓球と違い、ボールを跳ねさせられず、ネットを4.2cm上げてネットの下を通らせる。

空振りが多くサーブで勝負が決まることが多かった。まったく見えないためサーブをする際に手を広げて自分が卓球台のどこにいるのか確かめている人もいた。そもそも空振ってサーブすらできないこともあった。競

技中は静かにするものだが、珍しく打ち返すことができたときや点が決まった際はやっている本人はもちろん、周りも声を上げて喜ぶことがあった。

止められない、ボールを止まらな

私たちはゴールボールを行った。初めは、バスケネットボールほどの大きさがあるなら3人もいれば止められるだろうと思っていた。しかし、実際にはボールが来たとき、何度も触れられずに点を入れられてしまった。ボールに触れたことも何度かあったが、勢いがついていてボールを止めまことはできなかった。ボールを止めきれなかったのは仲間との連携が取れなかったからだろう。味方との間にボールが来たときに意思疎通をしないとどっちも行かなかったり、両方が行ってしまったりすることがよくあった。このゲームでボールを止めるときに一番大切なことは、仲間とボールの大体の場所などの声かけをし、協力してボールを止めに行くことだと分かった。



また、ボールを投げるとき全力で投げるとボールがコースアウトしてしまうことが多くあった。投げるときにボールが出てしまわないように、やさしく投げてでもすぐに敵に取られてしまうので、投げるときに力加減が難しかった。



新聞部顧問
ボールに股を抜かれる



マジメにポーズをキメている
新聞部顧問

どっちも目隠し?

パートナーを頼りに...

～視えない世界体験してみた～

目隠しで介護された感想

相手は目隠しをしているので、相手には分からない周囲の環境や、床の段差があると、平坦になつているところを細かく伝えた。相手が恐怖心を持たないように、できるだけゆっくり導いていった。

目隠しで介護された感想

段差がたくさんあるところでは、「この先段差あるよ」と声をかけてもらうことがとても助かった。また、周りの場所や状態を伝えてもらうことで、自分が今どんなところを歩いているかを把握でき、恐怖心もなくすることができた。

私たちはサウンドテーブルテニス、ゴールボールを終えた後に新聞部活動場所であるCAI教室に向かった。その道中、アイマスクをつけて介護され、アイマスクをつけている人を介護してみた。



見えてませんよ



爽？スーパーカップ？結果は...

スーパーカップ 勝利

ドンマイ
爽派♡



7月3日に行われた勢翔祭第1日目に、私たち新聞部は2つの王道アイス「スーパーカップ」と「爽」のどちらのほうが好きかについてアンケートを行った。文化祭の結果ではスーパーカップの圧勝となったが、実際はどちらが売れているのか、人気なのかを調査するため、3つの場所で行った。

まず私たちは平和堂石部店に伺った。その結果、平和堂石部店では、6月中旬から7月中旬までの売上個数は、スーパーカップが1100個、爽が420個であり、去年の8月から今年の7月までの売上個数は、スーパーカップが9500個、爽が2700個だった。近畿周辺の平和堂全店では、今年の7月中

の売上個数は、スーパーカップが25万7000個、爽が10万2000個であり、去年の8月から今年の7月までの売上個数がスーパーカップが215万個、爽が73万個で、全体的にスーパーカップの売り上げが爽の売り上げの3倍ほど上回っている。そして取材を受けてくださった店次長の中川さんは夏は爽派、それ以外の季節はスーパーカップ派だそう。



▲平和堂石部店

新聞部員に食べられるスーパーカップと爽▶

どっちも美味しい!



スーパーカップ 完勝の流れ



▶夏以外はスーパーカップ派
だと言う中川さん（左）

クスリのアオキ石部東店では、2つの売上個数は、1年間でスーパーカップが1017個、爽が327個だそう。また、7月もスーパーカップの方が上回っていると同様。店長の中黒さんはスーパーカップの方が好まれる。その理由には、爽のジャリツとした食感が挙げられる。

最後に、アルブラザ瀬田に電話取材を行った。その結果、7月上旬の売上個数は、スーパーカップが529個、爽が98個という結果だった。これだけの大差が出たのは、スーパーカップの特売があったかららしい。取材を受けていただいた店員さんは爽の方が好ましい。

取材を行った3店舗のいずれでもスーパーカップが圧勝する結果となった。その理由には、スーパーカップは安価であり、多くの人に好まれやすいシンプルなお味であることが関係していると考えた。

新聞部に聞いた! 好きなアイスは?



- ・レディボーデン (ロツテ)
- ・あずきバー2票 (井村屋)
- ・クーリッシュ (ロツテ)
- ・パピコ (グリコ)
- ・MOW (森永)
- ・チョコモナカジャンボ2票 (森永)
- ・スプーンが折れるほど固いしろくま (丸永製菓)
- ・アイスの実 (グリコ)
- ・ジャイアントコーン (グリコ)
- ・パリパリバー (森永)
- ・ナッツが表面についたチョコアイス (森永)



▲ 落ち着いた店内 様子

「お菓子で幸せになる人が増えるように」

「たねや・クラブハリエ」に取材して

今回私たちはたねや・クラブハリエの近江八幡店を取材した。ここは近江八幡市にあるたねやの中でも最も古くから店を構えており1976年から48年間お菓子屋さんとしてお客さんに沢山の幸せをとどけている。

近江八幡の旧市街に位置するたねや・クラブハリエの歴史は長い。戦前は野菜や花の種を販売していたため、地域住民から「たねや(種屋)」と呼ばれていた。その名残で現在も「たねや」と呼ばれ続けている。時代の流れとともに1872年からお菓子の販売をスタート。戦後の砂糖が貴重な時期でもたねやは栗饅頭やもなかを地域に届けていた。古くから人々に愛されて和菓子は現代でも販売されている。1951年にはクラブハリエとして洋菓子の販売をスタート。創業地を大切にしたいという思いからずっと滋賀県に店舗を置き「たねや」「クラブハリエ」としてお菓子の販売をしている。現在滋賀県にはたねやが9店、クラブハリエが10店ある。

LAGO大津

来年の3月24日に大津市内に新しいたねやの店舗が開かれる予定になっている。湖や水をテーマにしており、店からは琵琶湖が一望できるようになっている。



広報担当の黒川さんと近江八幡店店長の西川さんに伺った!

3つの大切なこと



▲ 奥…店長 西川さん / 右…広報担当 黒川さん

たねや・クラブハリエの広報担当の黒川志歩さん、近江八幡店店長の西川竜太さんに大切にしていることを伺ったところ、たねや・クラブハリエの社訓である3つの言葉を教えてください。

1つ目が「天平道(てんびんどう)」。近江商人の「人の道」をもとに、自分たちの幸せだけで満足するのではなくお客様や材料を作ってくださる農家の方々の幸せも生み出せる商売をするということ。

2つ目が「黄熟行(あきない)」。手塩にかけるという意味で、お菓子の原材料、関わる人、お客様、スタッフ全てを大切にすること。

3つ目が「商魂(しょうこん)」。今日、いかにお客様に喜んでもらいたかを意味しており、「天平道」と「黄熟行」の魂を込めて日々の商いを実行していくことと捉えている。

お菓子を通してお客様の人生の大切な瞬間に寄り添う心構えとしていて。また、お菓子で幸せになってくれる人が増えるようにという気持ちとともに日々、働いているとコメントされた。

こだわりや大切にしていること

こだわりとして、和菓子のたねやと洋菓子のクラブハリエの商品を取り扱っていること。大切にしていることは、経営理念でもある「天平道黄熟行商魂」。自分たちだけが幸せではなく、お客さんやかわってくださるすべての人のことを考えて営業することを大切にしている。



たねや・クラブハリエで一番おすすめの商品

【店長 西川さん】カステラ(滋賀限定)上品な甘さや素材の味を生かしている。ふわっとした優しい触感、和菓子本来のあたたかみを感じるあまさ。甘いものが苦手な人でもおいしいと思える。
【広報 黒川さん】カステラ。カステラを今どきにアレンジ。ラコリーナで食べられる。焼きたてがサイコー!!

働いて嬉しかったこと

【店長 西川さん】「あんたがいたから来た!」という一言や本社に直接お礼を伝えてくださる時。
【広報 黒川さん】テレビで見たよと知人から言ってもらったとき、お店にいるときのおいしい!という声を聞いたとき。楽しそうだったり、喜んでいたりする顔が見られた時はうれし。



塗り重ねた歴史時代変われど品変わらず

八幡店の人気商品は魅力は

洋菓子…バームクーヘンクラブハリエといえばこれ!というイメージがある。一番人気はミニサイズだそう。
和菓子…本生羊羹「本生製法」という、熱を通さず小豆の風味を最大限に活かした独自の製法のみずみずしい水羊羹を製造している。

どうして滋賀県に出店してるの

近江八幡の旧市街池田町で商売をもととしていたから。木林屋→種屋→お菓子屋となる。ご近所さんからお菓子屋となっても「たねやさん」と呼ばれたため、たねやというお店の名前になった。

働きがいがある?

【店長 西川さん】お客様と一番近い距離である接客をするので、やっぱりお客様の生の声を聴けるのが働き甲斐。やっつけてよかったと思う。
【広報 黒川さん】お客様のうれしそうなお顔や、いろいろなものを見ていきたいというお客様の顔を思い出すと仕事を頑張ろうと思う。



感想

お店に取材して、従業員さんや広報さんのこだわり、思いやりなどを感じられました。和菓子や洋菓子など様々な種類のお菓子が売られているので老若男女問わず、食べられるなと思いました。

いち早く 正確な情報を

（現代を生きる記者）



▲我々に説明をしてくださった神田さん

8月27日、我々は中日新聞彦根支局に向かい、取材を行った。昨年この新聞社にお世話になったが、今年は昨年とは異なる、よりタイムリーな話題の情報を持ち帰ることができた。



まず、新聞とインターネットの差はなんと云っても、圧倒的な信頼度であるという。どのような記事であっても、情報源を明確にしており、統計データを用いるときには官公庁の公表している信頼できる情報源から情報を得ている。それこそがこのネット社会においても新聞が一定の価値を持ち続けている理由なのである。インターネットとは違い、必ず取材相手がいる。向き合っている相手を確認し、そこから取材が始まる。また、補足取

材が必要な場合には電話やメールで取材したり、もう一度取材相手のところまで赴いたりする。中日新聞は滋賀県内で彦根市、愛荘町、長浜市、米原市あたりの湖東、湖北に特に読者が多い。中日新聞の特徴は地方版で滋賀県内の話題が4ページにも渡って書かれていることである。他の主な新聞社では、基本的に1ページしか県内の話題はない。多くても2ページであるという。この豊富な文章量で人気を博しているのだろう。

この時代は、AIが上手な文章を生成できる世の中だ。そんなAIにも書ける記事では意味がない。AIにはできない、世の中に埋もれてしまっている本当のことを記者自身の言葉で多くの人に届ける。それこそが新聞の使命であり、記者の存在価値であると神田さんは語った。

新聞には、起きたニュースをすぐ伝えるという速報性ととともに、今後のことを語る記者それぞれの視点が非常に重要である。経験豊富な記者と若者の斬新な視点によって日々素晴らしい新聞がつけられている。



▶本校の図書室に所蔵されている中日新聞の紙面

信頼で稼ぐ仕事

深刻化する文字離れ 解決のカギは人々の共感

最近インターネットサービスが充実し、若者の文字離れという問題が起こっている。特に新聞は、多くの文字で成り立っているため、文字離れの影響を深刻に受けてしまう。これからの新聞は、文字を読むことが苦手な若者でも記事を読みたくなるよう、工夫をするべきである。

12:34 2024/10/21 1080 回表示
65 件のいいね



例えば、読めない漢字を減らし、写真やグラフを載せたり、囲み記事にしたりするだけで、視覚的に分かりやすくなる。難しい話題を取り上げる時には、言葉の意味を解説することで、誰でも記事の内容を理解することができる。少しの工夫で、共感しやすく読みやすい記事を作ることにつながるのだ。

この囲み記事をすべて読んだ人、素直に「いいね」

見逃さない 滋賀で紡ぐエピソード

ホッケーの町、 米原

中日新聞社は国民スポーツ大会の競技で滋賀県の米原市のOSPホッケースタジアムで開催されるホッケー大会に注目している。米原市は1981年びわこ国体で競技会場になってからホッケーが根付いていった。新しい風を吹かせてい

るのが、ブルーティックス滋賀だ。2020年3月に聖泉大学の男子ホッケー部と市内の社会人チームが合体して発足し、国内のトップリーグである日本リーグに参戦すると、わずか1年で1部に昇格した。その後、2022年にホッケー場で世界大会が開かれた。現在、米原市は「ホッケーの町」と言われている。

スポーツを 様々な視点から

時には同日に金メダルが出ることもある。メダル獲得の背景に印象的なエピソードがある人を大きく取り上げる。金メダル有力選手は事前に密着取材を行い、優勝前の裏側を取り上げる。中日新聞社は9月28日発行の新聞では、国スポに出場する選手や障害者スポーツ大会に出場する選手の特集の特集が組まれている。ぜひ読んでみてほしい。

知事に訊く

高校と近江鉄道の未来

高校無償化に向けた取り組みと近江鉄道への支援策を語った



▲とてもイイ笑顔の三日月大造 滋賀県知事(53)

8月9日、私たち東大津高校新聞部は滋賀県庁で行われた、三日月大造知事による滋賀県下の高校の新聞部に向けた知事会見に参加した。私たちは三日月知事と県の担当者に対し、「高校無償化」と「近江鉄道の上下分離」に関連する質問を行った。

年間50億円もかかる!?

高校無償化

大阪府は、公立・私立とも所得に関わらず授業料の無償化を導入している。私たちは滋賀県にもこの制度を導入する計画があるのかと質問した。知事からは、「所得の低い世帯の応援はするが、県の財政を考えるとすべて人に対する県内すべての高校授業料無償化はできない」との返答をいただいた。なんと、すべての高校生を対象に授業料無償化をしようとすると年間約50億円もかかるそうだ。滋賀県の財政を考えると制度実施が厳しいこともうなずける。だが、知事も都道府県ごとにサービスの差があるのはよくないとかんがえているそうだ。そこで、全国一律での高校授業料無償化制度導入を求めて文部科学省に働きかけているそうだ。

近江鉄道を全線残す!

近江鉄道が、昨年度から鉄道事業再構築計画に基づき、上下分離方式へと移行した。これにより、近江鉄道は運行に専念し、赤字の大部分を占めていた保線・施設管理費用から解放されることとなった。以降は、滋賀県と沿線市町によって構成される近江鉄道線管理機構が保線や施設管理、車両整備などを請け負うことになる。

はこの半分を負担するので、約55億円となる。大きな負担のように見える近江鉄道の存続と上下分離化だが、これはほかの案に比べても安上がりなものなのだ。まず、前提として、鉄道を残すかどうかがある。廃止する場合の代替交通機関の費用が、バス転換案を除いて、鉄道存続にかかる費用を初期投資の段階で上回っていた。この理由もあり、近江鉄道は全線存続することとなった。



県知事に質問する新聞部員

近江鉄道も

ICCOCAで行くか!

近江鉄道は、米原や彦根、近江八幡、貴生川といったJRとの接続駅にて乗降客数が多いことが特徴だ。しかし、近江鉄道線ではICCOCAが利用できず乗り継ぎ客は不便を強いられていた。そこで今回、ICCOCAの導入を決定した。以前からICCOCA導入の要望はあったが、慢性的な赤字により導入費用を確保できていなかった。しかし、上下分離で施設管理費が県と沿線自治体の負担になったことで費用の確保が可能となり、導入を決定した。



会見後、知事との会話



詳細を聞く様子

びわこ京阪奈線 本当はできるの?



びわこ京阪奈線構想について語る三日月知事

近江鉄道と信楽高原鐵道、信楽—京田辺間の新線によって、滋賀県と京都府、JR学研都市線により大阪府と奈良県をつなぐ計画、「びわこ京阪奈線構想」がある。三日月知事もこの構想には前向きで、沿線活性化に向けて期待を寄せている。しかし、実現へのハードルは高い。

まず、電化区間と非電化区間を通る車両の問題だ。信楽高原鐵道は電化されていないため、全線直通の列車であればエンジンで走る気動車である必要がある。だが、京田辺駅付近は既に宅地開発が進んでいる。騒音や排気ガスの問題が出てくるのは明らかだ。また、山間部を通るため、全線の電化も容易ではない。

次に、新線は山の中を走ると思われるが、沿線の集落数が少なく、沿線の住民の旅客需要がほとんど見込めないことも構想が実行されない理由の一つだといえる。

さらに、システムの問題もある。鉄道会社によってシステムが異なるため、統一には時間がかかるだろう。しかし、災害時に琵琶湖線が不通時の代替路線となる可能性を秘めている。この部分に関して、三日月知事は特に関心を寄せていた。会見当日が南海トラフ地震に関する不安が世の中を席巻した時期であったため、この部分に関しては期待したいと考える。

設備や車両の課題、新線建設と電化に関する問題、平常時の旅客需要の問題といった、多くの問題と課題がある。しかし、滋賀と京阪奈をつなぐ長年の希望に加え、災害時の代替路線になりうるため、課題を乗り越え実現してほしい。

弓道部

者たちが選ばれし



植田 遥介さん(2-1)

選出された感想
今までの努力報われた

意気込み
一度先輩たちに全国連れて行ってもらっているの、自分達の力でもう一度行きたい



藤川 紅羽さん(2-2)

選出された感想
色々な高校があるので、自分の技術を比べられるそれに加えて自分の今の実力も実感ができるので目標に向けて頑張りたい

意気込み
頑張らなな～
選ばれたからには練習頑張ろう～



園田 涼太郎さん(2-4)

選出された感想
正直、選ばれたーって感じ

意気込み
選ばれたからには頑張りたい



里村 双葉さん(2-5)

選出された感想
選ばれたことは純粋に嬉しい
今年の佐賀の本国スポは補欠なので来年の滋賀の本国スポは本選手に選ばれるようにターゲットエイジでも頑張りたい

意気込み
頑張ります



三橋 陸人さん(2-2)

選出された感想
県代表として頑張れるように努力していきたい

意気込み
今年の佐賀国スポは選手の補欠だったので来年の滋賀国スポでは本選手として頑張っていきたい

帰ってきてまたも

テニス部女子

編集後記

部費でアイス食べました (やーしー)
めっちゃ店舗まわった (コクエイ)
10月18日に16歳になりました♡ (フアン)
10面担当したから褒めて！ (桃華)
楽しかった (にっしー)
有難きもの、誤字なき文 (タカラトミー)
部室のクローラーが救いでした (リンペイ)
真っ暗な学校楽しかった！ (あずあず)
四季が崩れた今日のごろ！ (るー)
今年の一年はみんな優秀

で出番がなかった悔しい (ケンティー)
みんなお疲れ様でした (ふなっしー)
今年の災厄の分は来年に持ち越しか……来年頑張れ (レイ)
仕事がタイトルしか残らないくらいみんな頑張った。威厳とは。 (こむ)
店が大きくて見つけやすかったです (きりぎりぼし)
お疲れさまでした (松原)
がんばりました (松生)
次から部活いっぱい行く！ (シナモン)
秋どこ行ったん (ゆーいち)



尾崎 優衣さん(2-9)

選出された感想
光栄です
ありがたいなって感じます

意気込み
来年は国スポ選手に選ばれるように頑張りたいです